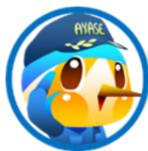




綾瀬市消防本部・消防署

湘中央生命科学技術専門学校 卒業
令和5年度入庁
消防署 消防隊 宮本 胡桃



インタビュー形式でお伝えします！
早速、自己紹介と今の業務を教えてください！

令和5年度入庁の宮本胡桃といいます。
消防隊の隊員として当直勤務をしています。救急救命士の資格を持っているので、救急隊にも乗務することができます。



フレッシュな宮本さんよろしくお願いします。
早速ですが、消防士になろうと思ったきっかけを教えてください。

小学生の頃から漠然と人を助ける仕事に就きたいと考えていました。学生時代に実際に救急活動や救助活動を目の当たりにして、私も現場に出て助けたいと思ったのがきっかけです。



勤務をしているの苦労とかありましたか？

元々バスケットボールをしていたので、体力には自信が
ありましたが、実際に出動した際、まだまだ体力がない
と実感したことです。先輩方に負けないよう体力と筋力
の強化に今後も頑張っていこうと思います。



時に救急隊にも乗務することもある



消防学校初任教育生の仲間は
大切な同志となります



専門学校時代



高校時代



学生時代には何に熱中していましたか？

高校生までバスケットボールに熱中していました。
ポジションはパワーフォワードで、ゴール付近で高身長
の選手と戦っていました。



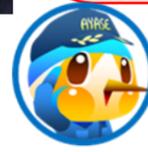
バスケットボールかっこいいですね！
採用試験対策はどのようなことをしていましたか？

まずは、1次試験は筆記と体力検査があるので、対策と
して、一般教養の勉強と体カトレーニングを頑張りました。
私は1人でやるのが苦手なので、同じ目標を持つ同期
と勉強やトレーニングを行いました。



採用試験を突破し、今消防隊として勤務をしていますが、
宮本さんにとって、消防職のやりがいにはなに
がありますか？また、やってよかった瞬間などあれば教えてください。

実際の救急・消防及び救助の現場では、市民の方にとっては非日常的なことばかりです。日々の訓練で知識や技術、思考力を身に付けそれを活かして人を助けることができるのがやりがいだと感じています。
やってよかったと思った瞬間としては、感謝の言葉をいただいた時や、イベントなどで来庁された方に「女性の消防隊かっこいいですね！頑張ってください！」と声をかけていただいた時とてもうれしかったのを覚えています。



最後に、宮本さんの目指す消防士像を教えてください。

市民の方にも同僚にも安心してもらえる消防士を目指しています。そのためにも、救急の知識だけでなく、消防や救助の知識や技術を学んでいきたいと思っています。



ありがとうございました！綾瀬市消防本部公式Instagramでも別バージョンを掲載しています